

伊田小学校

『いのちを輝かす〜結〜』

―共生・共学・共育―

校長 前田浩文

◆はじめに

本校の学校教育目標は「いのちを輝かす〜結〜」〜共生・共学・共育〜です。

本年度の児童数は14人。3年のとび複式、4・5年の変則複式、6年の単式学級で教育活動を行っています。

◆教育活動の重点について

私たちは、「つかむ・ねる・うむ」主體的な学びの創造」〜複式・少人数授業をしくむ〜というテーマで次の中心的な研究課題に取り組んでいます。

①複式・少人数学級における授業づくり

複式授業では、ロスタイムは禁物ですので、2学年分の教材の準備と工夫がとても大事になります。教師が直接指導できない、いわゆる間接指導時の学年は、子どもたち同



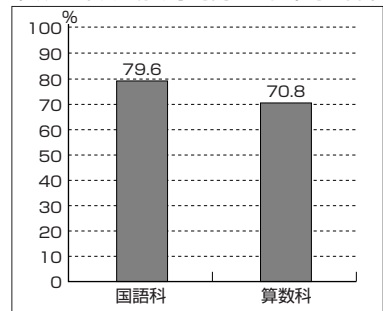
ICTを活用した国語の授業

士の主体的な学び合いが行われます。直接・間接の渡りの授業の中に、「つかむ(課題把握)・ねる(学びを練り合わせる)・うむ(学びを確立する)」という授業の流れをパターン化することで、より分かる授業を創造しています。

②効果的なICT活用

楽しく分かる授業の工夫として、ICTの活用を一つのツールとしています。情報化社会への対応も視野に入れながら、授業のデジタル化を目指しています。教師自らがパソコンで作成する教材や、インターネットを介したデジタル教材を取り入れています。小規模校のメリットを生かし、各学級に、50型テレビモニター、インターネット接続のパソコン、書画カメラ、ペンタブレットを構え、いつでも使

平成24年度 標準学力調査全校平均正答率



※1名の学年があるので全校平均としています。

えるように整備しています。子どもたちの学習意欲を高めるためにはとても効果的です。表は2年生・5年生の標準学力調査結果です。

③表現力、コミュニケーション力の育成

会話を育成するために、授業を通して表現力の指導はもろんのこと、児童朝会では、1週間の反省事項を各学級の代表が暗記して発表した上、上級生は、各種行事の司会やあいさつのマニュアルを覚えたり、ビデオカメラの突撃インタビューにこたえたりしながら会話に慣れていく取り組みを行っています。また、総合的な学習の時間には、地域へ出向いて漁業や農業、地震・津波などについて取材活動を行い、コミュニケーション力を養っています。

④豊かな読書活動

児童の学校図書室利用率を高めるために、お勧めの本コーナーを設けたり、図書委員が読書クイズを作ったりして、読書環境を整えています。また、朝会前の上級生による下級生への絵本の読み聞かせや図書委員による学級出張読み聞かせ、毎週火曜日に図書室で行う自主学習(学習朝会)、そして読書まつりなど、読書が好きになるような工夫を行っています。全校で、年間読破目標を100冊としていますので、各学級でもそれに向けた取り組みを行っています。

⑤なかまづくり

子どもたちの良い言動を瞬時に褒めること、意図的に褒めることを私たちのモットーとしています。授業をなかまづくりの基本としながら、道徳教育参観日・人権教育参観日・いきいき子育て集会・キヤリア教育参観日など、講師を招いて講演会を開くことを通して、優しさ、思いやりの心を養い、人としての生き方などを学んでいます。

⑥評価活動

基本的な生活習慣の確立に向けて、子どもたちが自己実

⑦体力づくり

毎朝のマラソンから1日がスタート。その内、金曜日は、体力づくりも兼ねて、避難訓練を行っています。また、体育朝会でのサーキット運動や柔軟運動など体育授業を補充する活動を進めています。子どもたちの明日が輝くために保護者・地域と連携して取り組みを進めています。



毎週金曜日の避難訓練